鹽田勞働者の奮起

中播勞働組合を組織し
久留氏等熱辯を揮ふ

十一日其の發會式を行ひ

最近各地に於ける勞働運動に刺戟され中播勞働組合を組織することになつた飾磨、白浜、八木三ケ村の鹽田勞働者は後援の如く十一日午後一時から八木村木場の正覺寺で其の發會式を擧行した、同勞働者總數八百名中六百名許り（飾西勞働總同盟の久留當二氏外數名の辯士出席し『吾等の地位の改善、生活の安定を計る事を期す、吾等は親睦を計り一致協力して相互の扶助目的を貫徹す』其他宣言文句入りのビラを數千枚配布して勞働者の奮起を促し山村一次氏の開會の挨拶で會を開き勞働者の五分間の演説後勞働組同盟川芳之助氏の『勞働組合の力』柴田傳太郎氏の『勞働運動の目的』行政長祓氏『勞働と佛陀』の順下に何れも熱辯を揮つたが柴川氏の演説中警官から注意を受けたので場内活氣立つた、最後に久留弘三氏は『勞働組合のいろは』なる題下に勞働組合の効果を述べ四時過ぎ散會したが何分中郡地方最初の試みであるので所轄飾磨警察署から非常警戒の警官を出張派遣に努めて

航空思想宣傳の飛行は延期

來る十九日擧行

航空思想宣傳飛行大會は十一、一二の兩日姫路城北練兵場を根據地として姫路市を中心に播州一圓の空を飛行なすべく長、飛行士は前日來姫し一般の注意を喚起するの準備を整へてゐたが十一日は祭日の事とて冒險飛行の放れ業を見んものと早朝から見物人は續々城北練兵場に詰め掛けしも正午前から雨となつたので同會の都合で飛行は中止となり見物人は殘念さうに立去つた、同練兵場は師團の方にも都合があるので來る十九日でなければ使用を許されぬ關係で同日まで飛行を延期した

爭議要求の保留

それは見ものっ自由さ
故意と問題を回避して
歸朝の松方社長急遽上京

一月十日桑港を出帆したる東洋行船會社の春洋丸はホノルルを經由し船客五百六十一名貨物二千六百十七噸を積載して十日午前九時横濱に入港したが船客中には華府會議に派遣されたる立作次郎博士、大竹博治少將、川崎造船所社長松方幸次郎氏等あり松方氏はソシヤルルームに於て出迎への新聞記者團に對して語る

「造船所のストライキ問題がなければ使用を許されぬ關係で同日まで飛行を延期した

獨逸は上下を通じお話にもならぬ程の切り詰めた生活をしてゐることは國内では物價が法外に高く賃銀も低給として受る馬克の價は驚くに安いためだ日給取は低給生活者に比べると遙に割は可いがそれでも慘憺たるものだ併しかゝる中にもその勞働者は本來の優越力を發揮して着々と國力を回復してゐる目下の狀態より押せば國力の戰前に復するのは餘り長くはあるまいと豪も悲觀を唱へて居ない

「日本は休業」

爭議中の小野造船鐵工所

大阪市西區中口町の小野造船鐵工所が解雇手當、其他の要求案を提出したが、職工の中最も狂暴と目さゝれた仕上部は十二日朝より休業し、造機部は意外狀態となつた、同所は昨年四月大爭議の際勤續を來し、其後造船界の不況に加はり、當時一千名の職工は今や約半數となつてゐる本爭議開始なれば到底職工の要求を容れ難かるべしと（大阪電話）

日本染料が突然

四十名解傭されて
全職工奮起し態度強硬

大阪市西區川岸町の日本染料株式會社の爭議に就ては、會社が工場を閉鎖して對峙中の所、會社は十日夜突然首謀者と看做す職工四十二名に向ひ、內容證明郵便を以て解雇する旨の通知を發した、之を聞知せる全職工四百名は直に西成郡傳法町の永樂座に集合して善後策を講じ就て同盟の總代數名は會社の爭議に就ては會社が工場を閉鎖して對峙中の處、會社は十日夜突然首謀者と見做す職工四十二名に對し內容證明郵便をもつて解雇する旨通知を發し同時に一般職工に對しても休業中二週間分の給料は支給せず、但し誠意の認めらるゝものに限つて幾分を支給する、十三日は休業明けであるが出勤するも怠業の擧に出る時は即時工場を閉鎖し更に解雇するから分らぬ云ふ長文の注意書を交附した、職工四百名は直に西成郡傳法町の永樂座に集合善後策協議の結果

一、十三日の休業明けには職工全部定刻に出勤怠業を爲す事

二、解雇職工は當日打揃ふて社長に面會、解雇の理由を質問する事、但し理由不徹底の時は全職工解雇を迫る事

三、七名の實行委員に依て休業中の給料並に解雇手當を請求する事

四、被解雇者に對し一般職工より日給三日分を支出し贈與する事

等を決議し結束を固めた、尙會社側は中谷社長が上京、內務省の諒解を得て斷然したので成行に依つては此際全部を解雇するやも計られぬ模樣で態度强硬を極めて居る（大阪電話）

日本染料職工演説會

大阪西區川岸町日本染料會社の爭議に關し同會社は十日、首謀者と見做す職工四十二名に解雇を申渡したが之を許す旨陳情し又十三日の休業明けに復社する者には其筋の諒解を得んでやらうと申し向けた上の事で勿論職工側の反感を買ひ職工側は十二日午前十時から傳法永樂座で演説會を開催勞働總同盟からも應援する筈で飽くまで戰ふ決心でゐる

松江炭坑の總怠業

原料運搬の爲

始終紛擾の絶えない松江炭坑では又復勃發の氣運を孕み昨年勞働者大拂さへ關係して紛擾を續けて居る原因は給料不拂の爲と赤化系の煽動にありさ（改報十二日電話）

被檢首團の松方社長

出發演説會

松方川崎造船所社長が歸朝するまでに例の來解決の爭議問題に對しての輿論を喚起すべく昨年の爭議中檢束された職工の一團より組織されてゐる浪人會の主催で十二日午後六時より湊川勸業館に於て被檢首職工の松方社長出發大演説會を開し同時約二千名の來園は全市に渉つて大獅子吼を行つて爭議熱の再燃に努める筈である（神戸電話）